

9月13日に砂防技術者継続学習プログラム  
(土砂災害現場同行調査)を開催しました。

土砂災害に対し実践的な危機管理技術を習得し、的確で迅速な現場対応ができる職員の育成を目的に、平成28年度から建設部の現地機関の若手職員を対象に砂防技術者継続学習プログラムに取り組んでいます。

本年度の第2回目が9月13日に行われ、昨年9月22日、台風16号に伴う豪雨により被災した「小川村裏立屋」の地すべり災害現場において、建設事務所や砂防事務所の若手職員10名を含む18名が参加し、災害調査の初期対応等について研修しました。

被災直後の状況  
(H28年9月24日撮影)



【研修会の実施状況】

災害調査実践研修の様子①



災害調査実践研修の様子②



災害調査実践研修の様子③



災害報告等についての座学の様子

